

愛知淑徳大学一般入試 A・B 方式を受験された皆さんへ

2019 年 2 月 15 日

2019 年度愛知淑徳大学一般入試 A・B 方式において、不適切な出題がありましたので、下記のとおり対応することといたします。なお、本学では中央値補正法を採用しているため、受験科目間の有利不利は生じません。

以上、ご報告いたしますとともに、受験生の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

記

実施日 : 2019 年 2 月 1 日 (金)

時 限 : 第 3 限

教 科 : 国語

18 頁

第三問 問八は、問題として不適切であったため、この設問に対する解答をすべて正解として処理します。

実施日 : 2019 年 2 月 2 日 (土)

時 限 : 第 2 限

教 科 : 地歴・理科 (世界史 B)

世－9 頁

問題 IV (1) は、問題として不適切であったため、この設問に対する解答をすべて正解として処理します。

実施日 : 2019 年 2 月 4 日 (月)

時 限 : 第 2 限

教 科 : 地歴・理科 (世界史 B)

世－10 頁、世－11 頁

問題 VI

世－10 頁、下から 3 行目と 4 行目

「・・・科拳の実施であった。」は「・・・科拳の実施であった。」の誤りでした。

詳細に検討した結果、以下のように判断いたしました。

(1)、(2)、(4)、(5)は、解答に支障のある箇所ではないと判断し、通常通り採点いたします。

(3)は問題として不適切であったため、この設問に対する解答をすべて正解として処理します。

以上